

脅かされる、わたしたちの生活 マイナンバー・カジノ (IR)・ビッグデータ ～守ろう、暮らし・人権・命～

政府は統治国家を目指して、わたしたちの情報までを握り、商業化してお金が世間に流れることを狙っています。どんな手段でも使い、たとえ精神的に弱い人たちからも、お金を奪い取ってでも、金儲けが第一とばかり、国民の暮らしや人権までも狙っているのです。

私たち皆で、互いに見つめ合って助け合って、この危険な世の中を回避して行こうではありませんか。若者も人に相談できない、友達もいないそんな時に精神的に病んでしまいギャンブル依存症になってしまうこともあります。

マイナンバー・カジノ (IR)・ビッグデータ反対と私たちの横の繋がりを築いて、この問題について考えてみませんか。

記

☆とき : 2020年4月11日(土) 13:30~16:30 (13:0受付)

☆ところ : 江戸東京博物館会議室

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1

☆アクセス : JR 総武線 両国駅西口下車 徒歩3分

都営地下鉄大江戸線 両国駅 (江戸東京博物館前) A3・A4 出口

徒歩1分 <https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/information/access/>

☆講師 : 越智祥太さん 医師 (ことぶき共同診療所 精神科医)

天笠啓祐さん (DNA問題研究会会員)

未定 (共通番号いらないネット)

☆共催 : DNA問題研究会 <https://dnamondaiken.wixsite.com/mysite-3>

横浜へのカジノ誘致に反対する寿町介護福祉医療関係者と市民の会

共通番号いらないネット

☆連絡先 : 電話 090-2669-0413 (DNA問題研究会・神野)

電話 080-5052-0270 (共通番号いらないネット・宮崎)

☆資料代 : 500円



筑波大学(国立大学協会会長校)の 大規模軍事研究に抗議し、 その中止を求める署名

防衛装備庁助成研究への応募・採択に抗議し
その中止を求める申し入れ書

筑波大学長 永田恭介様 2020年3月 日

軍学共同反対連絡会
共同代表 池内 了、香山リカ、野田隆三郎

私たち軍学共同反対連絡会は軍学共同に反対する運動に取り組んでいる
学者・市民の団体です。

大学は学問研究の場であり、学問研究の目的は真理の探究を通して、人
類の平和と幸福の増進に貢献することにあります。人と人が殺し合う戦争
は人類の平和と幸福を破壊する最たる行為であり、学問研究が戦争に協力
することがあってはなりません。

前の戦争で科学者が戦争に全面的に協力した結果、人類に想像を絶する
惨禍をもたらしたことへの痛切な反省に立って、日本学術会議は軍事研究
との訣別を誓う声明を1950年、1967年の二度に亘って発表し、2
017年3月にもあらためてそれら両声明を継承するとする声明(以下、
17年声明)を発表しました。

防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度は、日本を再び戦争する国に逆
戻りさせると危惧された安全保障関連法の成立と同じ2015年に発足し
ました。同制度はデュアル・ユース(軍民両用)を掲げていますが、
以下の事実からも同制度の主たる目的が将来の軍事利用にあることは明ら
かです。

(1) 安全保障技術研究推進制度の平成31年度公募要領に、「防衛分野
での将来における研究開発に資することを期待し、先進的な民生技術につ
いての基礎研究を公募・委託するもの」と明記されている。
(2) 17年声明が「(同制度は) 将来の装備開発につなげるという明確
な目的に沿って公募・審査が行われ、外部の専門家でなく同庁内部の職員

が研究中の進捗管理を行う」と述べている。

このような軍事利用が明白な制度に最高学府である大学が応募するこ
とは、学問研究を本来の目的から逸脱させ、学問研究の軍事協力を推進
し、軍事研究との訣別を誓った先人たちの痛切な反省を無にするもの
です。

貴学は昨年、防衛装備庁「安全保障技術研究推進制度」Sタイプ(大
規模研究課題、5年間で20億円以内の供与)の二次募集に応募し、採
択されました。同制度が発足した2015年以来、Sタイプに採択され
た大学は貴学が初めてです。今回採択された貴学の研究テーマは「高強
度カーボンナノチューブを母材とした耐衝撃繊維と機械的解明と超耐衝撃
材の創出」です。様々な兵器や防衛装備品において、衝撃に耐える
の開発は極めて重要な意味を持っており、貴学がこれを「民生にも使え
る基礎研究」と考えようと、防衛装備庁が20億円も出すのは兵器や装
備品に利用するためにほかなりません。

安全保障技術研究推進制度への大学からの応募は、17年声明の発表
もあって、発足年の58件から年々、減少の一途をたどり、昨年(一次
公募)は8件にまで激減しました。このように全国の大学において同制
度への応募の自粛が進むなか、国立大学協会会長校である貴学が率先し
て同制度Sタイプ(大規模研究)に応募・採択されたことは決して許さ
れることではありません。

以上述べた諸理由により、私たちは貴学の安全保障技術研究推進制度
への応募・採択に強く抗議し、採択された研究を中止するよう申し入れ
ます。

上記の申し入れ書に賛同します

氏名	住所

当該署名の電子版は「筑波大学、軍事研究、署名」で検索ください。

なお重複署名はお避け下さい。

署名送付宛先 195-0072 町田市金井8-24-36 小寺隆幸

(軍学共同反対連絡会 事務局)